



2013. 7月発行 No.72

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

もっと核心地域への徹底巡視を

白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）が5月31日（金）に八峰町文化交流センター「ファガス」で開催され、巡視員の方をはじめ、関係機関、関係市町村の担当者ら41名が出席しました。

はじめに白神山地世界遺産地域連絡会議を代表して、東北森林管理局計画保全部長から、「未だにたき火の跡、違法な伐採跡が見受けられるため、入山マナーの普及・啓発に努めていただきたい。また、白神山地世界遺産地域科学委員会に野生生物のフィールドサインを反映させたいので、ご協力をお願いしたい。」とのあいさつがありました。その後、巡視員を代表して村岡彰子さんに委嘱状の授与が行われました。続いて、議事に移り①今年度の主な事業計画について、②巡視員の活動について、③入山マナー向上・違法行為の防止について、④合同パトロールの実施について、関係機関から説明していただいたのち意見交換が行われました。その中で、「もっと核心地域への巡視を徹底するため、合同パトロールは粕毛川源流部を一泊コースでパトロールしてはどうか」「小岳登山道沿いのトラロープがボロボロになっていたり、気象観測機器がゴミと化しているので、何らかの対応が必要」との意見がだされ、事務局で検討し、対処することとなりました。午後からは巡視員の後藤千春さんに講師になっていただき「巡視員のための安全管理講習」と題して、安全管理の基礎についてや、普段持ち歩く際の装備品、怪我人を搬送するときの方法などについて実技などを交えながら学びました。なかでも怪我をして歩けない人を搬送する方法では、ザックを使った効率的な方法を実際に体験するなど受講者の関心を集めていました。今回の講習会を通して、あらためて普段の自分自身の持ち歩く装備品について見直す機会となり、また、怪我をした人がいた場合どのように対処したらよいか知る良い機会となりました。



八峰町文化交流センター（ファガス）



ザックを使った搬送方法を指導

霧雨のニツ森、幻想的なブナ林

6月15日（土）白神森林講座（春）・「新緑のブナ林を中から上から」を実施しました。当日は、あいにくの霧雨の中にもかかわらず県内から19名の方々が参加されました。ぶなっこランドにて開講式を行い、当所長より「写真撮影の指導を受けながら、新緑のニツ森の登山を楽しんで下さい。足場の悪い箇所もありますので、怪我の無いよう安全第一でお願いします」と挨拶があり、続いて後藤千春講師の紹介と職員の紹介を行いました。開講式終了後足早にニツ森登山口へと向かいましたが、外は霧に包ま

れ足下も滑りやすくなっていたため山頂を目指すことは断念しました。しかし、霧に包まれた幻想的なブナ林や、水滴がきらきらと輝く可憐な高山植物をモデルに皆さんシャッターを切っていました。昼食後ぶなっこランドに立ち寄り、館長さんから白神山地の概要をジオラマを使って分かりやすく説明していただきました。ほかにも、展示物には白神山地に生息する動物の剥製が数多く展示されており、白神山地の生態の豊かさを実感させてくれました。次に留山へと移動し、ブナ林の散策を実施し



留山でのブナ林の散策

ました。後藤講師から「薄暗い林内」や「見方によって様々な姿を見せる樹木」の撮影方法についてアドバイスがあり、皆さん真剣に聞き入っていました。参加者からは「カメラで、撮りながら散策するのが楽しかった。また来たい」「素晴らしい企画です。ありがとうございました」等の言葉をいただき、当センター最初の催しを無事終えることが出来ました。



ニツ森での記念写真

岳岱、藤里駒ヶ岳登山口まで通行可能に

地滑りにより冬期間閉鎖から通行止めとなっていた県道西目屋二ツ井線が6月20日に規制が解除されました。応急対策工事が完了したため第一ゲートから第二ゲートにかけて解除され、岳岱、藤里駒ヶ岳黒石沢登山口まで通行が可能となりました。青森県側を含めた全線は6月28日に解除はされましたが道幅が狭く、斜面对策工事中の箇所もあるため、通行には十分に注意して下さい。なお、雨量が制限値を超える場合は事前通行規制が実施されます。

今後の行事予定

- 9月15日 世界遺産登録20周年記念事業
サンセット登山inニツ森
- 9月28日 第2回イベント
初秋の小岳登山
- 10月19日 第3回イベント
白神山地での紅葉狩り
- 10月26日 白神森林講座（秋）